

平成29年度 独立行政法人福祉医療機構 契約監視委員会 議事概要

○日時等 平成29年6月26日(月)【14:50～16:10】
於：機構9F特別会議室

○出席者 委員：中村 洋 委員(慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授)
和田 義博 委員(公認会計士)
太田 克芳 委員(当機構監事)
大橋 裕子 委員(当機構監事)

【議事内容】

審議事項

- (1) 平成28年度調達等合理化計画に係る取り組み状況
平成29年度調達等合理化計画(案)
- (2) 契約点検結果【新たな競争性のない随意契約】(平成28年4月～29年3月)
- (3) 契約点検結果【2ヶ年連続一者応札・一者応募】(平成28年4月～29年3月)

【主な意見等】

- (1) 「平成28年度取り組み状況」及び「平成29年度調達等合理化計画(案)」について
○正確性を期すため、一部記述の見直しを求められた。
- (2) 「新たな競争性のない随意契約」について
○「宿舍借上費用」に関連し、競争性のない随意契約の考え方について、各委員から意見が述べられた。
- (3) 「2ヶ年連続一者応札・一者応募」について、次の意見があった。
○「システムの改修業務」について、継続的な基幹システムの改修業務であるため、結果的に開発業者等による一者応札・応募となったことは止むを得ないが、将来、他者も競争に参加しやすい汎用性のあるシステムへ抜本的に刷新する等、中長期的な改善案というものも検討されたらよいのではないかと。
○2ヶ年連続して一者応札・応募となっている案件について、特に落札率が高い調達は、予定価格が適切であったということ、発注側で残しておく必要があるだろう。

【委員の意見等に対する対応】

- (3) について
○新たなシステム関係の構築の際は、ご意見を踏まえた対応を講じていく。
○予定価格の積算については、従来から適切性に十分配慮しているが、今後も引き続きその確保に努めて参りたい。